



木の良さを  
活かした  
長崎の住宅

長崎県  
木造住宅

第14回  
2013年

コンクール作品集



新築



リフォーム





今日、ゆとりと潤いのある生活が求められる時代を迎え、住まい手の多様なニーズやライフスタイルに対応した快適で魅力ある住宅づくりが課題となっています。その中であって、毎年、数多くの住宅が建設されておりますが、わが国の気候風土に育まれた木造住宅への愛着は根強いものがあり、長崎県においても、新築戸建住宅の約87%は、木造で建てられているところです。

木材は、森林から再生産することができる貴重な資源であり、その利用促進は、低炭素・循環型社会の実現に寄与するものです。木材を活用した優良な木造住宅の普及の促進は、「住みたい・住める・住み続けられる長崎県」の実現を目指す本県の基本政策の1つである「低炭素社会に向けた住まいづくり・まちづくり」にも有効であると考えております。

長崎県では、木の良さを活かした良質な住まいづくりを進めるために、昭和62年から2年に1度「長崎県木造住宅コンクール」を開催しており、今回で14回目を迎えました。今回は、新築部門75件、リフォーム部門15件の応募をいただきました。

新築部門受賞作品15点においては、住み手のニーズや環境への配慮などの点で優れたもの、木の利点を熟知した上でその良さを十分に活かしながらデザイン的にも優れたもの等、住み手と設計者や施工者の情熱が、適材適所の形となって現れております。

また、リフォーム部門での受賞作品6点においては、昔ながらの住宅の柱・梁や建具などを再利用し、住み手のライフスタイルや街並みに合わせて再生させ、「いいものはきちんと手入れして、長く使う」という取組が形になっており、資源の有効利用や景観資産の保護に大いに寄与するものと思えます。

この作品集が、これからの住まいや木造住宅の方向性を示すモデルとして、県民の皆様のご参考になれば幸いに存じます。

県といたしましては、今後とも「住みたい・住める・住み続けられる長崎県」の実現に向け、地域の特性を活かしながら、安全で安心して暮らせる、質の高い住まいづくりに積極的に取り組んでまいります。

結びに、本コンクールの実施にあたり、ご尽力を賜りました関係団体の皆様並びに作品の厳正な審査にご協力いただきました審査委員の皆様へ、厚くお礼申し上げます。

平成26年3月

長崎県知事 中村 法道



# CONTENTS

新築

新築部門



P6 大村市 S邸

## 最優秀賞

1点



## 優秀賞

2点

新築部門



P8 東彼杵町 M邸



P10 川棚町 T邸

## 特別賞

3点

新築部門



P12 壱岐市 M邸



P14 佐々町 S邸



P16 長与町 N邸

## 入賞

9点

新築部門



P18 佐世保市 I邸



P19 諫早市 T邸



P20 雲仙市 T邸



P21 波佐見町 M邸



P22 長崎市 O邸



P23 諫早市 K邸



P24 諫早市 H邸



P25 長崎市 S邸



P26 佐世保市 A邸

### 審査を終えて

今回14回となった長崎県木造住宅コンクールには、新築部門とリフォーム部門の応募数が、それぞれ75件と15件にものぼりました。前回(平成23年度)の新築部門は55件であり、このコンクールが、住宅に関係する施主、設計者、施工者の方々に広く浸透してきていることを物語っています。

審査は2段階で行いました。第1次審査では書類及び写真をもとに、入選以上となる15作品(新築)を選び、さらに第2次審査では、これらを現地に見学して、関係者の方々から色々とお話を伺い、各賞を選考しました。

- そのポイントは、
- 1) 長崎の気候・風土・地域の特性に適しているか
  - 2) 現在のライフスタイルに適応した機能を持っているか
  - 3) 木の良さを活かした木造住宅か というものです。

15作品を全体的にみると、若いご夫婦の施主、家族のプライバシーを重視した中庭、閉じておらず他とつながっている個室、キッチンとその回りを大事にする配置、室内の温熱環境を配慮した諸設備、木だけでなく土壁・漆喰などの多彩な室内壁仕上げ、などが多く、これらが今回の特徴だといえます。

例年以上に力作が集まりました。そのなかで、審査委員会にて慎重に議論を重ね、新築部門では最優秀賞1点(大村市 S邸)、優秀賞2点(東彼杵町 M邸、川棚町 T邸)、特別賞3点(壱岐市 M邸、佐々町 S邸、長与町 N邸)を選考しました。

最優秀賞となったS邸は、大村市の住宅地に建ち、大きな切妻屋根の黒くシンプルな外観が特徴的な住宅です。内向きのプランが多い中で、外部に開かれ、配置・仕上げ材など敷地全体に工夫が見られます。スキップフロアとなっている室内は思った以上に広く伸びやかです。2階の子ども室とキッチンをつないでいる吹き抜けも秀逸です。室内家具との調和もよくとれており、自然環境をう

まく取り入れながら、ご家族が生活を楽しむ姿が読み取れます。

優秀賞のM邸は東彼杵町の新興住宅地にある、黒と白を基調としたモダンな住宅です。ご家庭のプライバシーを大切に、外からの視線を配慮した中庭とそれに面したキッチンダイニングが家の中心となっています。細長い吹き抜けが2階のワークスペースとこのダイニングをつないでいます。もう一つの優秀賞となった川棚町のT邸は、大村湾の入り江に沿って建ち、豊かな自然を満喫できる住宅です。ウッドデッキや吹き抜けなど広がりがあり、室内の空気循環を行い温熱環境も配慮されています。多趣味で成熟したご家族にうまく応答している住宅と言えます。

今回は、特別賞が3点となりました。いずれも非常に個性あふれており、多様な住まい方が可能な現代をよく示しています。壱岐市の自然に囲まれたM邸は、パッシブな温熱環境を室内に取り入れ、維持することを最大限に考慮した住宅です。回りを土で取り囲み、きつい勾配屋根が特徴となっています。木々田園に囲まれた佐々町のS邸は、まさに絵本に出てくるようなシンプルなウッディな住宅です。家を中心にして家族で生活することの大切さを改めて教えてくれます。趣味と海の絶景を取り込んでいる長与町のN邸は、郊外のセカンドハウスの性格をもち、シェルターとしての小屋の特徴がよく表れています。

入選作品は、いずれも施主の意向をうまく住宅に反映させ、木造の特徴を活かした作品が多かったものの、上記6点にはやや及ばなかったようです。

今後とも、地域の環境や景観に配慮し、住み手の生活スタイルを大切に、長崎の木造住宅が増えることによって、良好なまちづくりに貢献していくことを期待します。

新築部門審査委員長 伴丈 正志

# CONTENTS リフォーム

## 優秀賞 総合リフォーム部門

2点



P30 南島原市 K邸



P32 時津町 H邸

## 特別賞 1点 総合リフォーム部門



P34 大村市 F邸

## 入賞 1点 総合リフォーム部門



P36 南島原市 I邸



P28 東彼杵町 H邸



## 最優秀賞 総合リフォーム部門

1点

## 優秀賞 部分リフォーム部門

1点



P38 雲仙市 A邸

### 審査を終えて

今回の木造住宅コンクールは、これまでの新築部門に新たにリフォーム部門が加えられて3回目になります。応募総数は、総合リフォーム部門12件、部分リフォーム部門3件でしたが質の高い作品が多く集まりました。この事業のリフォーム部門が、関係者に広がり着実に支持を得ていることを実感しました。

書類及び写真をもとに第1次審査にて入選以上になる7作品（部分リフォーム1件）を選び、つぎに第2次審査では、これを現地で直接体感して、各賞を選考しました。その審査のポイントは、  
 1) 長崎の気候・風土・地域の特性に適しているか  
 2) 現在のライフスタイルに適応した機能とアイデア・工夫があるか  
 3) 木の良さを生かした木造住宅か というものです。

いづれもリフォームのきっかけにはライフスタイルの考え方や工夫・アイデアのある力作ぞろいでしたが、審査委員会にて慎重に議論を重ね、総合リフォーム部門では最優秀賞1点、優秀賞2点、部分リフォーム部門では優秀賞1点を選考しました。

総合リフォーム部門の最優秀賞の東彼杵町 H邸は、後継ぎ若夫婦の希望で築300年の家を活かした古民家再生住宅です。杉板の無垢材を活かしながら眺望とモダンなLDKをコアにした間取りプランも見事で、建具は古い建具を購入したり、既存欄間を照明器具に再生したり、バリアフリー、断熱性、通風性にも配慮した明るく見事な上質リフォームです。

優秀賞の南島原市 K邸は築110年の古民家を減・増改築し、続き間座敷を残しながら、省エネ・モダンを取り込んだ2世代住居として、重厚な小屋組とあいまっての古民家再生は見事です。同じく時津町 H邸は、築55年の農家母屋を二世帯住居として若夫婦のLDK、寝室、子供室、老人室が程よいプライバシーを確保するプランで古材を活かしながら採光、省エネ性を付加したリフォームは見事です。

特別賞の大村市 F邸は、築122年の7坪ほどの蔵を柱だけを残し、土壁、屋根、木窓を再生し落ち着いたコミュニケーションハウスは見事でゲストハウスもかねています。

部分リフォーム部門の優秀賞の雲仙市 A邸は、築100年程の先祖代々引き継がれてきた風格ある民家です。夏を旨とした陽が差し込まない暗くて寒い台所、居間、水回りが弱面で、構造柱を活かし、採光、断熱性、通風に配慮しながら、建具や無垢材でより一層の古民家の雰囲気を出し見事なリフォームです。

今後とも地域環境を活かし、古民家再生を柱とする、長寿命で地域のお手本となるような良質の木造住宅リフォームが増えていくことを期待しています。

リフォーム部門審査委員長 宮原 和明



# 大村市 S邸

## Data

設計者	HAG環境デザイン
施工者	HAG環境デザイン
建設地	大村市
敷地面積	371.00㎡
1階床面積	80.80㎡
2階床面積	55.06㎡
延床面積	135.86㎡

## 住宅の特徴

敷地は大村市の歴史地区の緑豊かな場所にある。屋外は、解体レンガによる透水仕上げ、雑木の植栽やビオトープなどにより敷地全体が緑に包まれた自然豊かな環境となるよう計画され、パッシブソーラーを導入するためや周辺からの視線が抜けるよう敷地に対して建物を斜めに配置し、大屋根、杉板外壁とすることなど景観にも配慮している。

内部は、深みのある明るすぎない光が室内を満たすような窓の配置と空間構成がされ、家事導線のコンパクト化を図り、薪ス

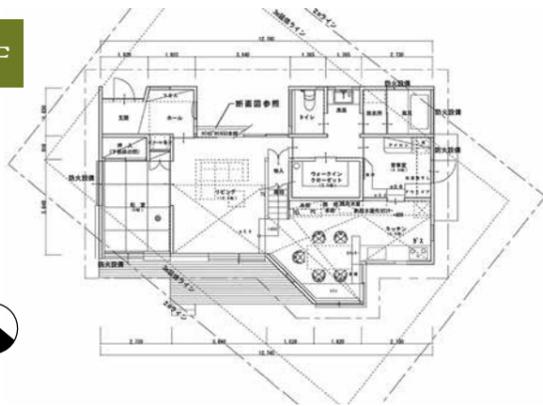
トープのあるリビングやダイニングなどで家族全員が一体的な暮らしを営むことができ、お互い適度な距離感の中で生活ができるよう適度な配置と空間のリズムを整えて計画している。

木製建具からは庭や周辺敷地の緑が室内にしながら楽しみ、建物は大工や左官棟梁のほか木工作家など、多くの職人によってほぼ手作業で造られ、手の温もりと味わい、そして静けさが共存する深みのある家が完成した。

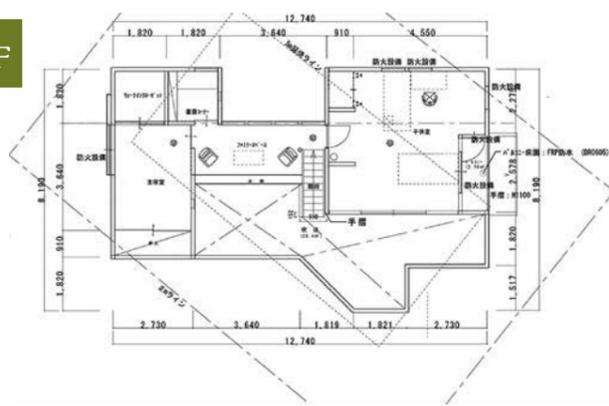
周囲の自然と家族生活を深く  
味わうスキップのある切妻住宅



1F



2F



## 建築主の感想

大きな暮らしができる小さな家が完成しました。私たち家族を包み込んでくれる大らかさ、静けさ、楽しさがあふれる家です。太陽が照っているときは太陽の、寒い日には火のありがたみを感じながら、私たちが自然の一部なのだと感じられます。この土地に佇んでいるだけで、自然に溶け込み、住んでいるものだけでなく、見ている人もほっとできる家になりました。

時間が経つにつれて、更に味わい深くなり、家族と共に成長していくでしょう。





# 東彼杵町 M邸

## Data

設計者	MAアーキテクト 一級建築士事務所
施工者	株式会社 上山建設
建設地	東彼杵町
敷地面積	334.90㎡
1階床面積	174.00㎡
2階床面積	69.00㎡
延床面積	243.00㎡

## ■ 住宅の特徴

敷地は平坦な分譲地である北西の角地にある。住宅は廻りからの視線を遮る為の木格子、及び外壁同様の塀でプライベート部分を隠している。

南面した中庭を中心に独立したホームシアターのあるリビング、ダイニング・キッチン、和室及び2階の吹抜部のワークスペースが取り囲むように配置、各々独立した空間でありながら開放することで繋がりのある空間を築いている。

内部仕上は床に幅広なナラ材、露出した柱・梁は集正材、2階斜天井には桐材、壁・天井には漆喰塗り、断熱材はウールを使用している。

素材を可能な限り自然素材で統一し、温かみと繊細なディテールに工夫している。

視線を配慮し  
キッチン・ダイニングが中心の白黒の住宅



1F



2F



## ■ 建築主の感想

アレルギー体質の家族が自然素材の内装と冬時期の24時間蓄熱暖房で室内の温度差も無く乾燥も少ないことで、体に優しい家になりました。そのおかげで、この家に住みはじめて子供のアレルギーはほぼなくなりました。

健やかにまた自分たちのプライベート空間を外からの視線を気にすることなく楽しく快適に過ごせる理想的な家になりました。





# 川棚町 T邸

Data	
設計者	有限会社トモハウス 二級建築設計事務所
施工者	有限会社トモハウス
建設地	川棚町
敷地面積	994.39㎡
1階床面積	97.30㎡
2階床面積	43.07㎡
延床面積	140.37㎡

## ■ 住宅の特徴

波の穏やかな大村湾の入り江に面した静かな土地に建っている。目の前に広がる絶好のロケーションを生かす居室配置とし、ウッドデッキや浴室からも四季折々の豊かな自然を楽しむ。

外観は大屋根形式でありながら、天然木の外壁や漆喰を使用しているため、周辺に自然と溶け込んでいる。

内部も天然木や漆喰などの自然素材をふんだんに使用した

健康的な住まいとなっている。リビングには薪ストーブを設置し、補助空調として利用可能な空気循環システムも併せて採用しており、冬場の薪ストーブによる暖気や夏場の床下の冷気を、ダクトを介して循環させることにより快適な室内環境を生み出している。開放的なリビングスペースを中心に各居室を配置し、2階も吹き抜けを介して室内のどこからでも家族の気配を感じることが可能となっている。

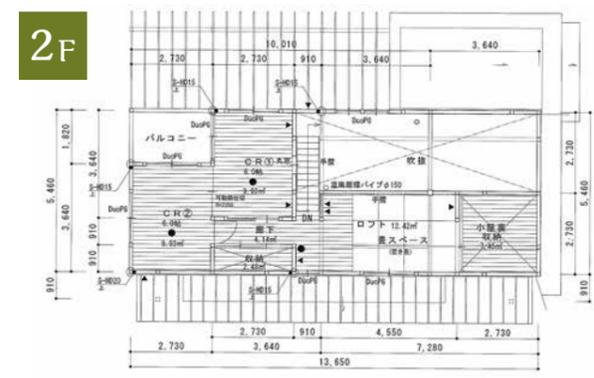
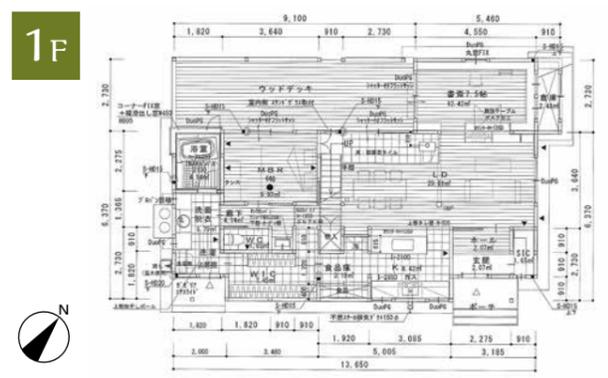
家族の多趣味を満喫できる  
湾に面した自然派住宅



## ■ 建築主の感想

海の近くでのびのびと暮らしたいというのが、私たち家族の夢でした。海を眺める広々としたバルコニーで食事をする、とても贅沢な気分になります。夫の書斎は機能的でありながら孤立せず、いつも家族を近くに感じます。2階の息子の部屋に遊び心で付けた船舶窓は、上と下の空間を繋げる効果もあります。

一つ一つの願いが叶い、家族が快適に暮らせる家になりました。ここでゆったりと生活を愉しみたいと思っています。





# 特別賞 壱岐市 M邸

Data	
設計者	有限会社 睦設計コンサルタント
施工者	株式会社 倉本組
建設地	壱岐市
敷地面積	845.47㎡
1階床面積	141.67㎡
2階床面積	66.24㎡
延床面積	207.91㎡

## ■ 住宅の特徴

住宅の大きな特徴は、外壁と屋根が一体となった通気層による2重外皮構造となっており、夏期は冷気、冬期は暖気が循環し、地中の基礎蓄熱層に蓄えられるシステムとしている。また、住宅の外周を盛土した外構計画により、周辺の緑豊かな景観になじみ、基礎に蓄熱された暖気や冷気を保温する効果も期待できる。

一般性能としては、内外装ともにシラス左官材を採用し、全8種類の無垢の木をあらわしで多用することで断熱性能が高く、調湿機能の高い仕様となっている。開口部はすべてペアガラスサッシ、外

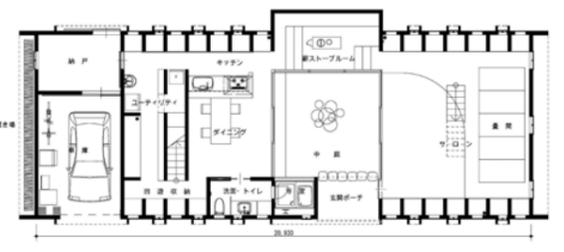
壁および屋根は断熱材、内外静止空気層と通気空気層の4重構造とすることで基本性能の高い外部被膜を形成している。太陽光発電を備え、LED照明器具、深夜電力の採用により地域電力への負荷を軽減させている。また、オリジナル造作の大工工事や鉄工所製作工事により地場製作による技術の継承と向上に寄与している。

敷地内の檜を伐採・葉枯らし乾燥させ框に使用したり、内外木部の塗装、コンクリートの小叩き仕上げを家族で行い、思い出に残る家づくりとなっている。

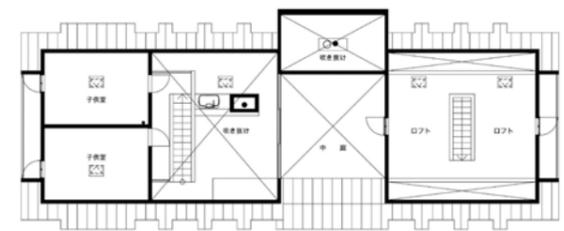
盛り土と急勾配屋根をもつ  
温熱環境重視の実験住宅



1F



2F



## ■ 建築主の感想

普通のスマートハウスではなく、様々なパッシブ要素を盛り込んだ省エネ住宅を木造でつくることができました。昨年の猛暑とこの寒冬を一通り過ごしてみて、住宅を身体感覚で住みこなすことの難しさを体感する一方で、確かな満足感を得ることもできました。

夏場は地中冷気と放射冷却熱のひんやり感のおかげで、冷房は数日間の稼働で済み、冬場は薪ストーブと太陽熱の送風ファン蓄熱のみで暖をとることができ、電気代を大幅にカットすることができました。





# 佐々町 S邸

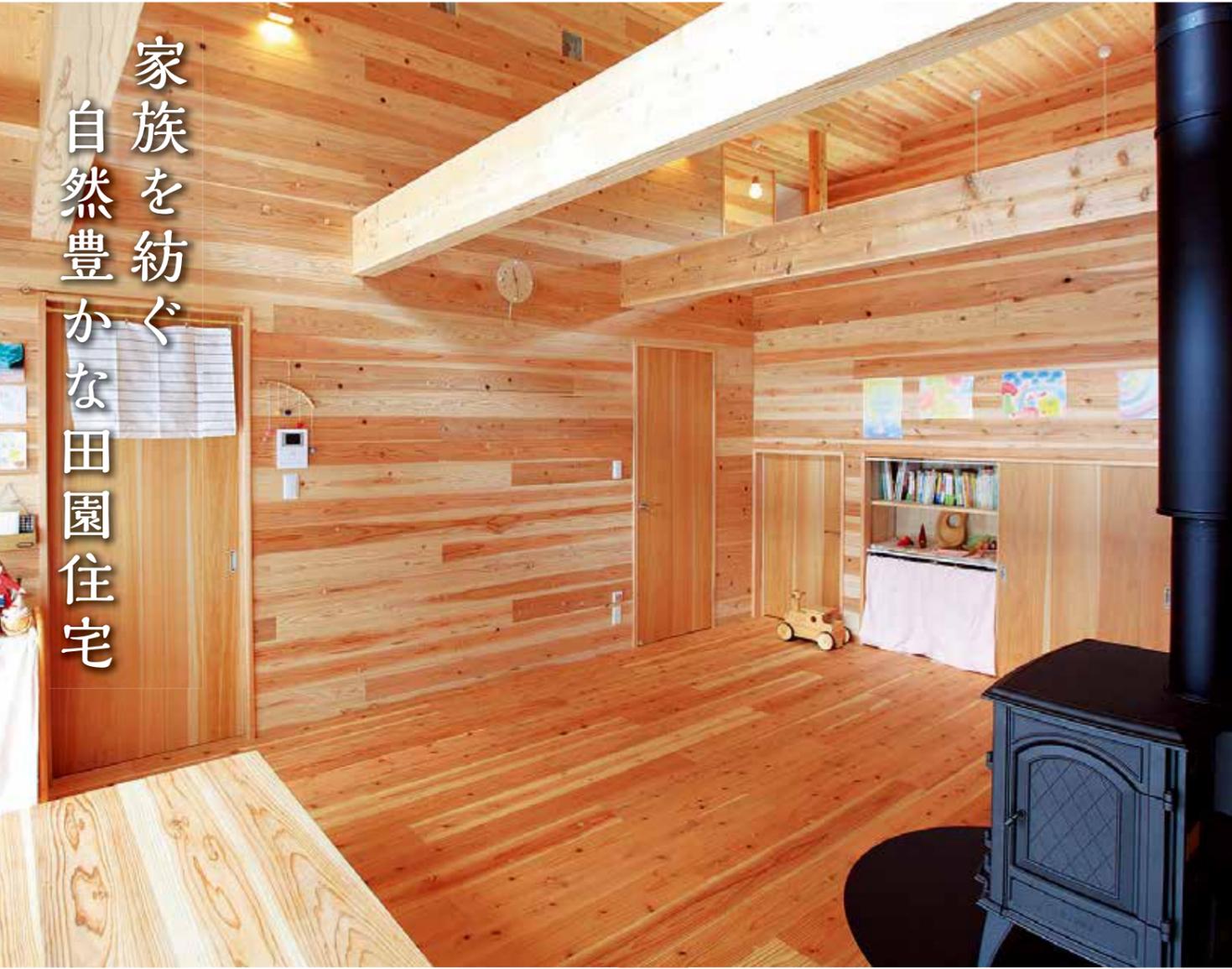
Data	
設計者	風の森プランニング 浜松建設一級建築士事務所
施工者	株式会社 浜松建設
建設地	佐々町
敷地面積	1,256.00㎡
1階床面積	74.52㎡
2階床面積	53.82㎡
延床面積	128.34㎡

## ■ 住宅の特徴

この建物は、14匹のねずみ一家が、森の中に家族みんなで協力して家づくり、日常生活を通し、家族団らんの喜びを描いた“絵本”をお手本に建てられた。  
 外壁を一家総動員で塗装するなど、積極的に家づくりに参加し、残った木材は処分することなく、椅子や本棚も作るなど最後まで木を大切に使用している。外壁や内装、さらには床の間に至るまで全て杉の無垢材となっている。

4人姉妹の部屋は、この家の特等席で、4人が一緒に勉強できる眺めのよい学習スペースとベッドがわりにして仲良く床につくことができるロフトである。リビングには、薪ストーブが置かれ、森を伐採した木々を燃料として使用している。  
 朝は小鳥たちの鳴き声、昼間は優しい風がそよぎ、夜になると満天の星がまたたく森で、自然の恩恵を受けながら、泣いたり笑ったりして家族と共に成長していく、そんな木の家である。

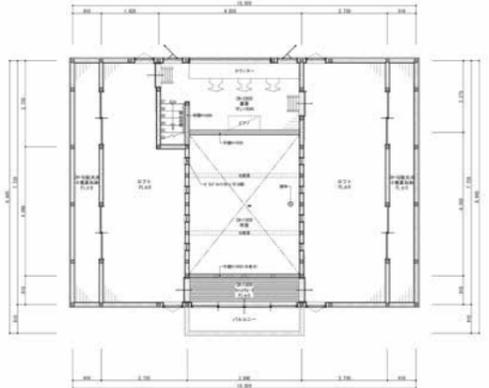
家族を紡ぐ  
 自然豊かな田園住宅



1F



2F



## ■ 建築主の感想

ロフトを持つ広い平屋で、各部屋ごとの仕切りもあまり作らず、生活の音が聞こえるような家族のコミュニケーションが取りやすい空間に仕上がりました。家族が集まる居間には、念願の薪ストーブ。住むならば、絶対に木の家にと常々思っていたので、家の壁は内も外も板張りにしました。  
 少しでも家づくりに参加したいという思いで、板の塗装を家族みんなでお手伝いできたことはとても大切な思い出になっています。





# 長与町 N邸

Data	
設計者	岡田工房
施工者	徳永建設株式会社
建設地	長与町
敷地面積	777.67㎡
1階床面積	52.93㎡
2階床面積	32.49㎡
延床面積	85.42㎡

## ■ 住宅の特徴

敷地は長与町の廻りを木々に囲まれた道路下に位置している。トイレと洗面所のサッシ窓を除けば、建具及び外壁は全て木造で懐かしさを感じる落ち着いた住宅である。

ポーチの壁は、大野教会の石積みをイメージし、自然石積みとしている。

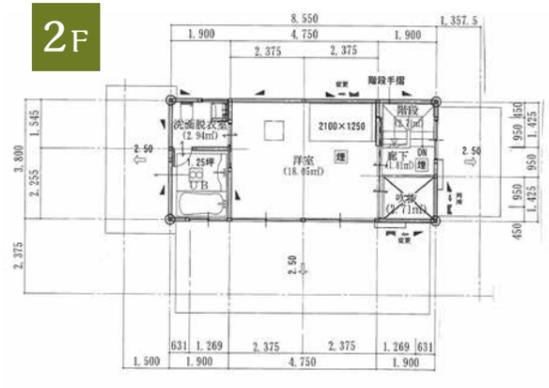
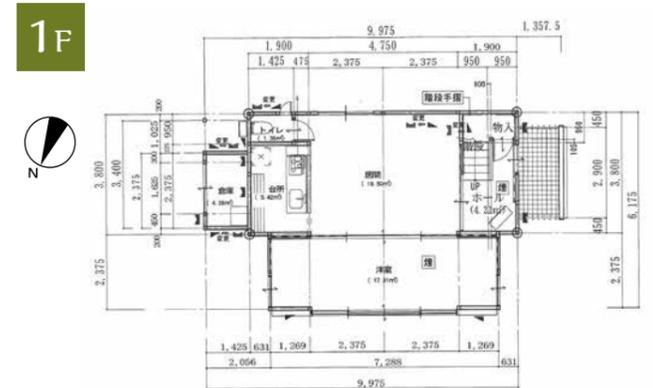
1階リビングの外部建具を全て開口して収納してしまえば、開口巾約4,600mm、高さ2,000mmの木製建具枠越しに見

る、木々の間から望む海はまるで額入れた絵のように見える。また、2階からの眺めも開放的である。

内部の仕上げ材はほとんどが、珪藻土の塗り壁で、木製建具や柱、梁、表し垂木などの馴染みもよく落ち着いた雰囲気になっている。

キッチンの壁や玄関上り框、階段の踏み板も古材を再利用し、新しい木材と古材が馴染んだ住宅となっている。

趣味を追求し海を望む  
開放的なセカンドハウス



## ■ 建築主の感想

目の前に広がる大村湾を、家の中から壁や柱などに遮られることなく開放感を持った眺めがほしいと思い、設計・施工を依頼しました。

外観は周りの樹々と馴染むような木板張りの外壁とし、室内は古材や自然素材を使い、柔らかな雰囲気に仕上がりました。ポーチの石積み壁は、気に入った外海の大野教会をイメージして設計士と一緒に自分達で積んでみました。





# 佐世保市 1邸

**Data**

設計者	株式会社 アーキテクト懂
施工者	白石建設株式会社
建設地	佐世保市
敷地面積	326.92㎡
1階床面積	40.78㎡
2階床面積	79.57㎡
3階床面積	53.19㎡
延床面積	173.54㎡

海の眺望と趣味と  
仕事を営むホワイトキューブ



# 諫早市 1邸

**Data**

設計者	風の森プランニング
施工者	浜松建設一級建築士事務所
建設地	諫早市
敷地面積	225.18㎡
1階床面積	88.60㎡
2階床面積	30.01㎡
延床面積	118.61㎡

新興住宅地に建つ  
切り妻の正方形の家





# 雲仙市 T邸

Data	
設計者	イノウエサトル建築計画事務所
施工者	株式会社 浜松建設
建設地	雲仙市
敷地面積	459.74㎡
1階床面積	132.71㎡
延床面積	132.71㎡

# 波佐見町 M邸

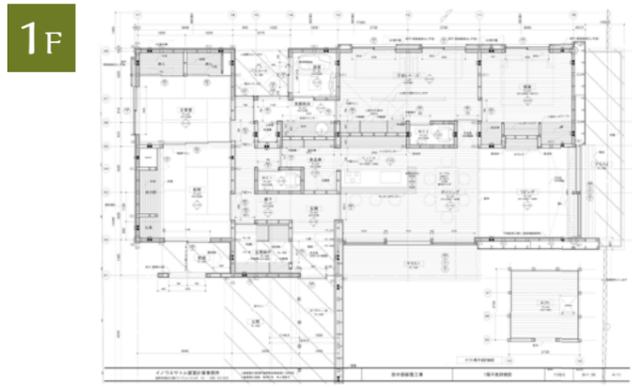
Data	
設計者	株式会社 アーキテクト懂
施工者	株式会社 上山建設
建設地	波佐見町
敷地面積	195.15㎡
1階床面積	105.39㎡
2階床面積	63.07㎡
延床面積	168.46㎡



田園の季節を楽しむ切妻の平屋の家



郊外住宅地の中庭とブレイクをもつモダン住宅





# 長崎市 O邸

**Data**

設計者	三浦設計
施工者	有限会社 山川建設
建設地	長崎市
敷地面積	223.82㎡
1階床面積	71.88㎡
2階床面積	25.46㎡
延床面積	97.34㎡

# 諫早市 K邸

**Data**

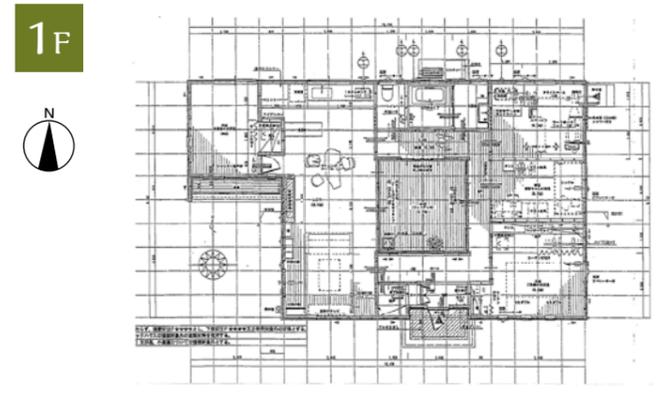
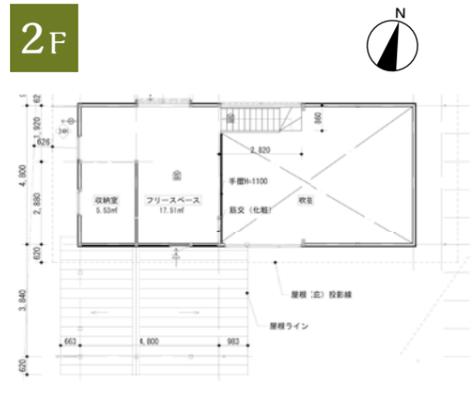
設計者	Design Works Ikeshita 一級建築士事務所
施工者	池下建設有限会社
建設地	諫早市
敷地面積	339.23㎡
1階床面積	106.20㎡
延床面積	106.20㎡



敷地の樹木を活かした  
大きな吹き抜けのある家



郊外に建つ  
中庭つきのブラックハウス



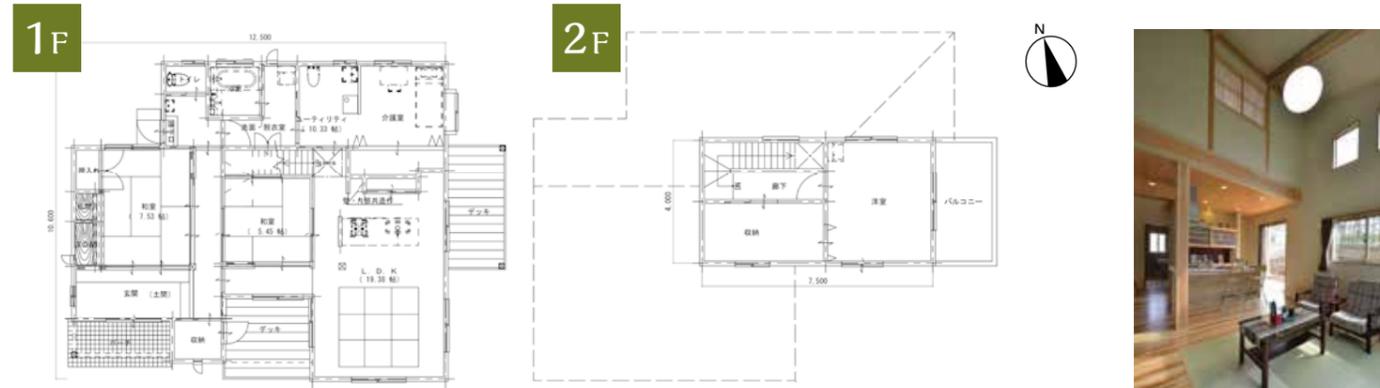


# 諫早市 H邸

**Data**

設計者	シープ
施工者	株式会社 DEN
建設地	諫早市
敷地面積	368.98㎡
1階床面積	110.18㎡
2階床面積	29.00㎡
延床面積	139.18㎡

新興住宅地にある  
和風の味を醸す家



# 長崎市 S邸

**Data**

設計者	鶴巻デザイン室
施工者	武藤建設株式会社
建設地	長崎市
敷地面積	190.56㎡
1階床面積	56.31㎡
2階床面積	48.85㎡
延床面積	105.16㎡

プライバシーと  
採光を重視する町中の住宅

